



## 2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年1月28日

上場会社名 東映アニメーション株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4816 URL <http://www.toei-anim.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高木 勝裕  
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役経営戦略部担当 (氏名) 吉谷 敏 (TEL) 03-5318-0639  
 四半期報告書提出予定日 2019年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日~2018年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	41,821	21.0	12,659	45.4	13,044	43.2	9,276	48.8
2018年3月期第3四半期	34,557	13.9	8,704	18.0	9,108	17.7	6,233	12.3

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 8,920百万円(28.9%) 2018年3月期第3四半期 6,920百万円(26.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	226.66	—
2018年3月期第3四半期	152.32	—

(注) 当社は、2018年4月1日付けで普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	86,416	64,976	75.2
2018年3月期	75,759	58,034	76.6

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 64,976百万円 2018年3月期 58,034百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度の総資産及び自己資本比率については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	145.00	145.00
2019年3月期	—	0.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	62.00	62.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

当社は、2018年4月1日付けで普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2018年3月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

2019年3月期の期末配当金の予想値については、2018年5月14日に公表いたしました予想を修正しております。詳細については、本日付公表の「2019年3月期配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

### 3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	53,500	16.3	15,000	33.1	15,300	32.3	10,200	30.0	249.23

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2019年3月期の連結業績予想については、2018年7月27日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細については、本日付公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

#### ※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動：無  
（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）  
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期3Q	42,000,000株	2018年3月期	42,000,000株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	1,074,165株	2018年3月期	1,074,119株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期3Q	40,925,877株	2018年3月期3Q	40,925,956株

（注）当社は、2018年4月1日付けで普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが本資料の発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、リスク及び不確実性を包含しております。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（金額の表示単位の変更について）

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載していましたが、第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに更改いたしました。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第3四半期連結累計期間についても百万円単位に組替え表示しております。

（日付の表示方法の変更について）

当第3四半期連結会計期間より、日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(3) 利益配分に関する基本方針	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間において、当社グループでは「ドラゴンボール」シリーズ、「ワンピース」、「プリキュア」シリーズといった主力作品による収益の安定・拡大を図るとともに、事業においては国内外でのアプリゲーム等ゲーム化権の販売に加え、中国を中心とした映像配信権の販売に引き続き注力しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、国内外でアプリゲーム化権や映像配信権の販売が好調に推移したことから、418億21百万円（前年同期比21.0%増）、利益については、収益性の高い版權事業や海外での映像配信権販売事業が大幅増収となったこと等から、営業利益は126億59百万円（同45.4%増）、経常利益は130億44百万円（同43.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は92億76百万円（同48.8%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります（セグメント間取引金額を含む）。

なお、セグメント損益は、営業利益及び営業損失ベースの数値であります。

#### ①映像製作・販売事業

劇場アニメ部門では、3月に「映画プリキュアスーパースターズ!」、5月に「デジモンアドベンチャーtri. 第6章」、10月に「映画HUGっと!プリキュア」、12月に「ドラゴンボール超 ブロリー」を公開しました。「ドラゴンボール超 ブロリー」の製作代収入があったことから、前年同期と比較して大幅な増収となりました。

テレビアニメ部門では、「ワンピース」、「HUGっと!プリキュア」、「ゲゲゲの鬼太郎」、「爆釣バーハンター」、「おしりたんてい」の5作品を放映しました。前年同期に比べ放映本数が減少したことから、大幅な減収となりました。

コンテンツ部門では、前年同期にあった「美少女戦士セーラームーンCrystal」のブルーレイ・DVDの売上に相当するものがなかったことから、大幅な減収となりました。

海外映像部門では、中国向け大口映像配信権の販売本数が増加したことに加え、北米向け映像配信権の販売が好調に稼動したことから、大幅な増収となりました。

その他部門では、国内での映像配信権の販売や、アプリゲーム『聖闘士星矢ギャラクシースピリッツ』が好調に稼動したことから、大幅な増収となりました。

この結果、映像製作・販売事業全体では、売上高は146億15百万円（前年同期比17.6%増）、セグメント利益は収益性の高い海外映像販売事業が好調に推移したこと等から、40億87百万円（同90.8%増）と大幅な増収増益となりました。

#### ②版權事業

国内版權部門では、アプリゲーム『ドラゴンボールZ ドッカンバトル』や『ドラゴンボール レジェンズ』が好調だったことに加え、複数作品で遊技機の大口契約があったことから、大幅な増収となりました。

海外版權部門では、アプリゲーム『ドラゴンボールZ ドッカンバトル』や、『ドラゴンボール ファイターズ』を中心とした家庭用ゲーム、「ドラゴンボール」シリーズの商品化権が欧米で好調に稼動したことに加え、アプリゲーム『ドラゴンボールレジェンズ』の配信が開始されたことから、大幅な増収となりました。

この結果、版權事業全体では、売上高は226億37百万円（前年同期比27.3%増）、セグメント利益は106億17百万円（同26.7%増）と大幅な増収増益となりました。

#### ③商品販売事業

商品販売部門では、「ドラゴンボール超 ブロリー」の劇場公開に向けたタイアップ・キャンペーン関連商品の販売に加え、『プリキュアプリティストア』等のショップ事業が好調だったことから、増収となりました。

この結果、売上高は40億16百万円（前年同期比6.8%増）となりましたが、一部商品において在庫評価減を行ったこと等から、セグメント利益は1億16百万円（同27.0%減）と増収減益となりました。

#### ④その他事業

その他部門では、採算性を重視した催事イベントやキャラクターショー等を展開しましたが、前年同期にあった「ドラゴンボール超」の催事関連に相当するものがなかったことから、減収となりました。

この結果、売上高は6億74百万円（前年同期比8.7%減）、セグメント損失は41百万円（前年同期は、82百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の連結業績予想については、2018年7月27日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細については、本日付公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、実際の業績は、当社グループの事業を取り巻く経済環境、市場動向、為替レートの変動等様々な要因により、記述されている業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

(3) 利益配分に関する基本方針

当社は、株主の皆様の利益確保を重要な経営目標の一つと考えており、中長期的な事業計画に基づく積極的な事業展開のための内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続的に実施していくことを基本方針としております。

内部留保金については、アニメーション業界のグローバル・リーディングカンパニーになるべく製作プロダクションとして製作体制の充実を図るとともに、成長が期待されるビジネス機会に積極的に投資いたします。

配当については、連結業績に応じて配当性向25%程度を基本といたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	28,493	34,774
受取手形及び売掛金	9,124	12,104
商品及び製品	297	255
仕掛品	1,667	3,156
原材料及び貯蔵品	71	68
その他	1,070	759
貸倒引当金	△16	△16
流動資産合計	40,709	51,103
固定資産		
有形固定資産	9,301	9,290
無形固定資産	497	491
投資その他の資産		
投資有価証券	12,009	11,851
関係会社長期貸付金	6,000	6,000
その他	7,281	7,720
貸倒引当金	△39	△39
投資その他の資産合計	25,250	25,531
固定資産合計	35,050	35,313
資産合計	75,759	86,416
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,458	12,052
未払法人税等	1,994	2,369
賞与引当金	308	157
その他	2,983	4,762
流動負債合計	15,744	19,341
固定負債		
役員退職慰労引当金	143	166
退職給付に係る負債	1,580	1,678
その他	256	253
固定負債合計	1,980	2,098
負債合計	17,725	21,440
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,867	2,867
資本剰余金	3,409	3,409
利益剰余金	50,116	57,415
自己株式	△544	△544
株主資本合計	55,849	63,147
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,190	1,921
繰延ヘッジ損益	△15	△1
為替換算調整勘定	10	△90
その他の包括利益累計額合計	2,184	1,828
純資産合計	58,034	64,976
負債純資産合計	75,759	86,416

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
売上高	34,557	41,821
売上原価	21,375	24,049
売上総利益	13,181	17,771
販売費及び一般管理費	4,477	5,112
営業利益	8,704	12,659
営業外収益		
受取利息	44	71
受取配当金	222	242
持分法による投資利益	18	50
為替差益	114	—
その他	59	49
営業外収益合計	459	413
営業外費用		
商品廃棄損	17	—
為替差損	—	25
その他	38	3
営業外費用合計	55	29
経常利益	9,108	13,044
特別利益		
投資有価証券売却益	—	29
特別利益合計	—	29
特別損失		
減損損失	123	—
特別損失合計	123	—
税金等調整前四半期純利益	8,984	13,073
法人税、住民税及び事業税	2,686	3,689
法人税等調整額	65	107
法人税等合計	2,751	3,797
四半期純利益	6,233	9,276
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,233	9,276

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	6,233	9,276
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	826	△226
繰延ヘッジ損益	7	14
為替換算調整勘定	△176	△101
持分法適用会社に対する持分相当額	29	△42
その他の包括利益合計	686	△355
四半期包括利益	6,920	8,920
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,920	8,920
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。